



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 サトーホールディングス株式会社

コード番号 6287 URL <https://www.sato.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 グループCEO (氏名) 小沼宏行

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CF0兼COO (氏名) 松本房晃 TEL 03-6628-2423

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	107,415	△0.8	8,087	14.2	7,767	1.2	4,806	△6.1
2023年3月期第3四半期	108,334	17.3	7,081	49.3	7,676	66.5	5,116	73.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 6,243百万円 (△5.8%) 2023年3月期第3四半期 6,629百万円 (46.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	148.34	148.30
2023年3月期第3四半期	154.04	153.98

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	128,172	71,627	53.8	2,127.85
2023年3月期	122,858	67,694	53.3	2,020.83

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 68,958百万円 2023年3月期 65,452百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	36.00	-	36.00	72.00
2024年3月期	-	36.00	-	-	-
2024年3月期 (予想)	-	-	-	36.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	144,000	0.8	9,900	12.0	9,500	4.8	5,600	33.8	172.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

詳細は添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	34,921,242株	2023年3月期	34,921,242株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	2,513,703株	2023年3月期	2,532,252株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	32,401,258株	2023年3月期3Q	33,216,688株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などによる将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「お客さまに最も信頼され、お客さまと共に成長し、変わりゆく社会から必要とされ続ける会社になること。」というビジョン実現のため、経営方針や成長戦略及び経営目標等を定めた3カ年の中期経営計画(2021～2023年度)を策定し、実行に移しております。

多様な市場・業界において現場の人やモノに情報をひも付けてリアルタイムに情報を吸い上げ、価値あるデータに転換してお客さまの上位システム等に届ける「タグging」を軸にしたソリューションで、個々の現場やサプライチェーン、ひいてはサーキュラーエコノミーまでを最適化する「自動認識ソリューション事業」に経営資源を傾注します。こうしたデータの取得・蓄積による見える化によって、社会の動きを最適化するお手伝いをし、持続可能な社会の実現に貢献する「Tagging for Sustainability」の実現を長期に亘り目指してまいります。そのアジェンダとしては、海外事業では自動認識ソリューションによる課題解決を横展開し事業成長を促進させ、日本事業ではバリューチェーンを切り口に「売る力」と「稼ぐ力」を向上させる「①グローバル事業戦略、タグging技術の高度化(自動化、RFID、センサー、ソフトウェア開発等)、データビジネスなどTagging for Sustainability型の新規事業創出を目論む②イノベーション・R&D」、お客さまへの提供価値の追求や気候変動対応の強化など社会的価値の創造、コーポレート・ガバナンスの強化や人的資本経営の強化など企業価値の向上を行う「③サステナビリティ経営」の3つを設定し、それぞれを有機的につなげ、多角的視座で戦略投資・資源配分を的確に実施し、事業・収益の持続的成長に向けた取り組みを推進しています。

当期におきましては、自動認識ソリューション事業において市場・業界別に商談を積み上げましたが、欧米での景気後退の懸念により代理店でのプリンタ在庫の調整などが影響し売上高は微減となりました。一方で欧州やアジアの販売子会社やプライマリーラベルを専業とする各社が好調を維持し営業利益は増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は107,415百万円(前年同期比99.2%)、営業利益8,087百万円(同114.2%)、経常利益7,767百万円(同101.2%)、親会社株主に帰属する四半期純利益4,806百万円(同93.9%)となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりです。

<自動認識ソリューション事業(日本)>

日本事業においては、サプライ製品での価格改定活動の効果やRFID関連のソリューション商談の増加により売上高は微増となりましたが、海外子会社へのプリンタ輸出の減少、サプライ製品の価格改定を上回る原材料価格の上昇及び営業活動費などの販売管理費の増加によりセグメント利益は減少しました。

市場別では、ロジスティクス市場は人手不足により自動化関連の商談の増加やEコマースの活況による物流量の増加、ヘルスケア市場は医療機関への外来患者数の増加や人手不足による管理業務の効率化を背景にメカトロ製品、サプライ製品ともに売上高が増加しました。一方でマニュファクチャリング市場はメカトロ製品、サプライ製品ともに半導体関連需要が一服し、またリテール市場はEコマース業界で前年同期にあったメカトロ製品の大口案件の反動で売上高が減少に転じました。

これらの取り組みにより、売上高56,209百万円(前年同期比102.5%)、セグメント利益823百万円(同40.3%)となりました。

<自動認識ソリューション事業(海外)>

海外事業においては、欧米での景気後退による商談の延期や前年同期にあった米国を中心としたプリンタ特需の反動などにより売上高が減少しましたが、欧州での販売管理費の削減やプライマリーラベルを専業とする各社で底堅い需要を捉えておりセグメント利益は増加しました。

ベース事業においては、米州や欧州で景気後退を注視する大手顧客の投資意欲の減退や、代理店でのプリンタ在庫調整の影響を受けて売上高が減少しました。一方で欧州では航空輸送の減少による輸送費の正常化により利益が増加しました。アジア・オセアニアではベトナム及びオーストラリアの販売子会社は好調を維持し、また台湾の販売子会社も代理店での在庫水準が正常化し商談の改善につながっていますが、工場でのプリンタ出荷台数の減少による設備稼働率の悪化が影響し、利益が減少しました。

プライマリーラベルを専業とする各社においては、前年度に引き続き食品や飲料、衛生用品といった生活インフラを支える業界向けのニーズが好調に推移し、また価格改定活動も進展したことにより現地通貨では売上高及び利益が増加しました。

これらの取り組みにより、売上高51,205百万円(前年同期比95.7% [為替影響を除く前年同期比103.7%])、セグメント利益7,005百万円(同123.6%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産の残高が83,448百万円（前連結会計年度末は81,137百万円）となり2,310百万円増加しました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産の増加（1,044百万円）、現金及び預金の増加（413百万円）、仕掛品の増加（226百万円）、未収入金の増加（173百万円）、原材料及び貯蔵品の増加（53百万円）、その他に含まれる前払金の増加（301百万円）、商品及び製品の減少（190百万円）等によるものであります。固定資産の残高は44,724百万円（前連結会計年度末は41,721百万円）となり3,003百万円増加しました。これは主に、有形固定資産の建物及び構築物の増加（811百万円）、機械装置及び運搬具の増加（479百万円）、無形固定資産のソフトウェア仮勘定の増加（1,270百万円）等によるものであります。

負債につきましては、流動負債の残高が41,955百万円（前連結会計年度末は44,963百万円）となり3,007百万円減少しました。これは主に、短期借入金の減少（2,043百万円）、未払法人税等の減少（928百万円）によるものであります。固定負債の残高は、14,589百万円（前連結会計年度末は10,200百万円）となり4,388百万円増加しました。これは主に長期借入金の増加（4,839百万円）によるものであります。

純資産につきましては、当第3四半期連結会計期間末における残高が71,627百万円（前連結会計年度末は67,694百万円）となり3,932百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加（2,464百万円）が替換算調整勘定の増加（734百万円）によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ812百万円増加し、21,564百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、7,188百万円の増加となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益6,821百万円、減価償却費3,625百万円等であり、主な減少要因は、法人税等の支払額2,184百万円及び仕入債務の減少額1,103百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、5,617百万円の減少となりました。

主な増加要因は、定期預金の払戻による収入706百万円等であり、主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出3,860百万円、無形固定資産の取得による支出1,739百万円及び連結の範囲の変更に伴う子会社株式の取得による支出610百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、742百万円の減少となりました。

主な増加要因は、長期借入金による収入7,930百万円であり、主な減少要因は、長期借入金の返済による支出2,980百万円、短期借入金の純増減額の減少2,441百万円、配当金の支払額2,330百万円及びリース債務の返済による支出950百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえて見直した結果、2023年11月9日に公表しました予想を上回る見込みのため、以下のとおり修正いたします。

2024年3月期通期の連結業績見直し

売上高	144,000百万円	(前回予想144,000百万円)
営業利益	9,900百万円	(同 9,500百万円)
経常利益	9,500百万円	(同 9,100百万円)
親会社株主に帰属する当期純利益	5,600百万円	(同 5,000百万円)

なお、通期の為替レートにつきましては、1米ドル143円、1ユーロ155円を想定しております。

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,879	22,292
受取手形、売掛金及び契約資産	27,113	28,158
有価証券	44	47
商品及び製品	13,685	13,494
仕掛品	590	816
原材料及び貯蔵品	12,579	12,633
未収入金	1,763	1,936
その他	3,712	4,467
貸倒引当金	△230	△401
流動資産合計	81,137	83,448
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,962	14,774
機械装置及び運搬具(純額)	11,602	12,082
土地	3,776	3,871
その他(純額)	2,988	3,760
有形固定資産合計	32,331	34,488
無形固定資産		
ソフトウェア	1,780	1,491
ソフトウェア仮勘定	1,682	2,952
のれん	222	395
その他	687	758
無形固定資産合計	4,372	5,598
投資その他の資産	5,017	4,637
固定資産合計	41,721	44,724
資産合計	122,858	128,172
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,379	6,497
電子記録債務	11,981	12,949
短期借入金	6,364	4,320
契約負債	7,322	7,174
未払金	4,212	3,738
未払法人税等	1,082	154
引当金	1,510	1,769
その他	5,109	5,351
流動負債合計	44,963	41,955
固定負債		
長期借入金	3,613	8,452
リース債務	4,182	3,707
退職給付に係る負債	1,002	1,036
その他	1,401	1,393
固定負債合計	10,200	14,589
負債合計	55,163	56,544

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,468	8,468
資本剰余金	7,764	7,763
利益剰余金	52,061	54,525
自己株式	△4,842	△4,800
株主資本合計	63,451	65,956
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△408	△67
為替換算調整勘定	2,272	3,007
退職給付に係る調整累計額	136	61
その他の包括利益累計額合計	2,001	3,001
新株予約権	28	19
非支配株主持分	2,213	2,650
純資産合計	67,694	71,627
負債純資産合計	122,858	128,172

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	108,334	107,415
売上原価	65,283	62,879
売上総利益	43,051	44,535
販売費及び一般管理費	35,970	36,447
営業利益	7,081	8,087
営業外収益		
受取利息	146	437
受取配当金	43	0
為替差益	475	—
その他	180	133
営業外収益合計	845	571
営業外費用		
支払利息	172	221
為替差損	—	477
支払補償費	4	—
その他	72	193
営業外費用合計	250	892
経常利益	7,676	7,767
特別利益		
固定資産売却益	16	35
関係会社株式売却益	20	—
その他	0	0
特別利益合計	37	35
特別損失		
固定資産除却損	43	41
固定資産売却損	13	6
退職給付費用	66	0
投資有価証券評価損	—	930
事業再編損	1	1
特別損失合計	125	981
税金等調整前四半期純利益	7,588	6,821
法人税、住民税及び事業税	1,765	1,479
法人税等調整額	26	△23
法人税等合計	1,791	1,455
四半期純利益	5,796	5,365
非支配株主に帰属する四半期純利益	680	559
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,116	4,806

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	5,796	5,365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△724	341
為替換算調整勘定	1,418	611
退職給付に係る調整額	138	△75
その他の包括利益合計	832	877
四半期包括利益	6,629	6,243
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,810	5,806
非支配株主に係る四半期包括利益	819	436

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,588	6,821
減価償却費	3,672	3,625
のれん償却額	237	109
固定資産売却損益 (△は益)	△3	△29
固定資産除却損	43	41
事業再編損	1	1
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	930
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5	222
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△27	183
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	65	168
受取利息及び受取配当金	△189	△438
関係会社株式売却損益 (△は益)	△20	—
支払利息	172	221
為替差損益 (△は益)	△625	△443
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△1,255	△864
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,305	524
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,207	△1,103
未払消費税等の増減額 (△は減少)	503	187
未収入金の増減額 (△は増加)	201	△260
未払金の増減額 (△は減少)	103	△115
その他	△173	△626
小計	3,788	9,157
利息及び配当金の受取額	189	438
利息の支払額	△172	△221
法人税等の支払額	△1,676	△2,184
事業再編による支出	△1	△1
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,126	7,188
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,181	△3,860
無形固定資産の取得による支出	△1,206	△1,739
有形及び無形固定資産の売却による収入	106	46
定期預金の預入による支出	—	△250
定期預金の払戻による収入	10,000	706
関係会社株式の売却による収入	32	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△610
その他	△172	90
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,578	△5,617
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	553	△2,441
長期借入れによる収入	—	7,930
長期借入金の返済による支出	—	△2,980
リース債務の返済による支出	△918	△950
配当金の支払額	△2,370	△2,330
自己株式の取得による支出	△1,788	△0
自己株式取得のための金銭の信託の増減額	△718	—
その他	3	31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,237	△742
現金及び現金同等物に係る換算差額	175	△15
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,643	812
現金及び現金同等物の期首残高	19,140	20,751
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,783	21,564

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動認識ソリューション事業(日本)	自動認識ソリューション事業(海外)	合計
売上高			
外部顧客への売上高	54,829	53,504	108,334
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,737	9,945	18,682
計	63,567	63,449	127,017
セグメント利益又は損失(△)	2,042	5,666	7,709

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,709
棚卸資産の調整額	△627
四半期連結損益計算書の営業利益	7,081

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動認識ソリューション事業（日本）	自動認識ソリューション事業（海外）	合計
売上高			
外部顧客への売上高	56,209	51,205	107,415
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,681	7,664	12,346
計	60,890	58,870	119,761
セグメント利益又は損失(△)	823	7,005	7,829

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,829
棚卸資産の調整額	258
四半期連結損益計算書の営業利益	8,087

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。